

琵琶湖 藻場・干潟ビジョン概要 (令和4年度～令和8年度)

滋賀県農政水産部水産課

長期目標 (令和12年まで/滋賀県農業・水産業基本計画および滋賀県内水面漁業振興計画)
 一健全な琵琶湖や河川環境のもとで水産資源が回復し、“儲かる”琵琶湖漁業が継承されている姿一

◆ 数値目標

- ・ 藻場 (ヨシ帯) は現状の79ha (令和3年度推定値) から、84haまで回復
- ・ 干潟 (砂地) は現状の3,656ha (令和3年度推定値) から、3,672haまで拡大
- ・ 漁獲量を現状の800トン (令和3年度推定値) から、1,200トンまで増大

◆ 藻場の変遷と保全状況

○ 琵琶湖沿岸におけるヨシ帯面積の変遷

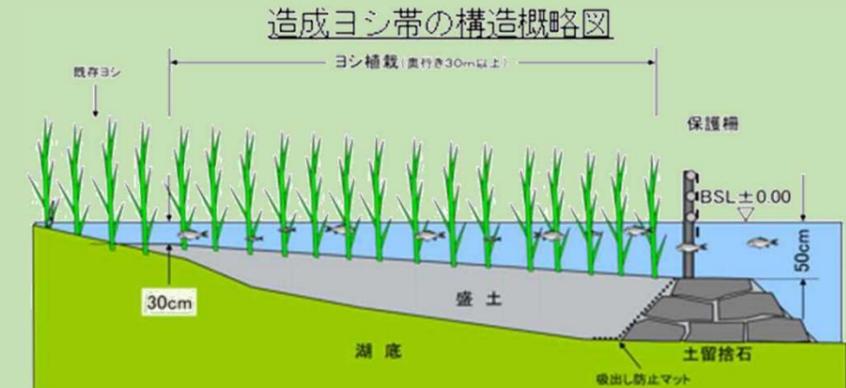
昭和49年	99ha	天然のヨシ帯
平成14年	38ha	湖岸開発・水位調整により減少
令和3年	79ha	ヨシ帯の造成推進により回復

○ 藻場の生産力低下

- ・ 雑木の繁茂による日照不足によってヨシ帯が衰退
- ・ ヨシと競合する特定外来生物の繁茂によってヨシ帯内の水質悪化

◆ 藻場再生に向けた取組

- ・ ヨシ帯の機能を低下させる雑木の伐採
- ・ 特定外来生物の管理と防除
- ・ 魚類の産卵繁殖機能確保のため、琵琶湖の水位変動に対応したヨシ帯施設の造成



■ 魚類の産卵繁殖機能を持たせるために、奥行きを30m以上とし、琵琶湖の水位変動に対応できるように、BSL (琵琶湖標準水位) マイナス30～50cmの緩勾配で造成

◆ 干潟の変遷と保全状況

○ 貝類の漁場となる砂地の変遷

- ・ 底質泥化により、セタシジミ漁場が減少

○ 干潟の生産力低下

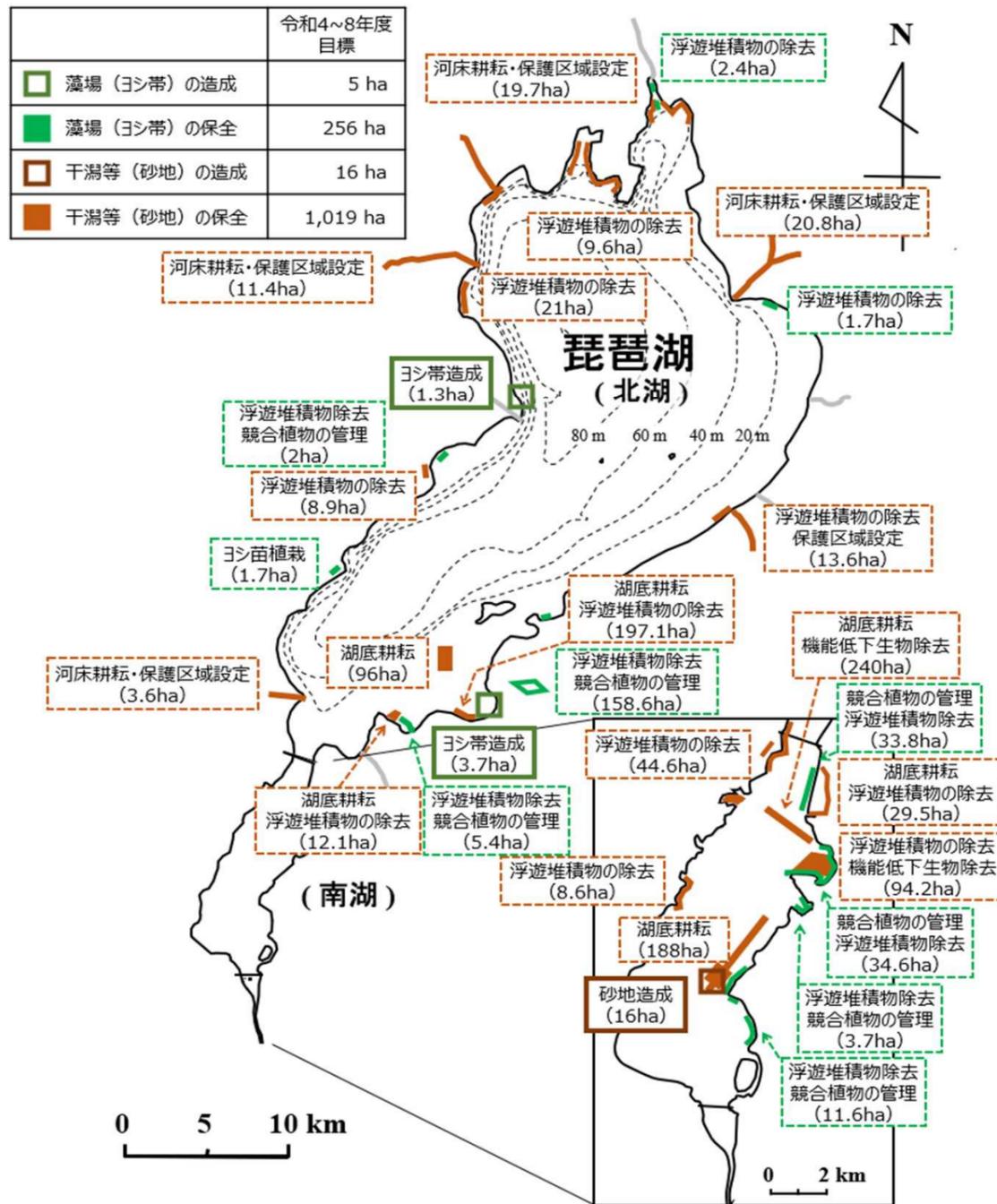
- ・ 建設材料確保のための湖底浚渫および砂利採取
- ・ 浚渫窪地内での貧酸素水塊の発生
- ・ 流入河川からの砂の供給量減少
- ・ 濁水の流入と水草の過剰繁茂による流速低下に起因する泥の堆積

◆ 干潟再生に向けた取組

- ・ 河床や湖底の耕耘および窪地の埋め戻し
- ・ 湖底に過剰繁茂した水草の除去
- ・ 浮遊堆積物の除去
- ・ セタシジミに好適な粒度の覆砂による砂地造成



藻場・干潟の造成・保全に向けた取組計画 (令和4年度～令和8年度)



	令和4～8年度目標
藻場 (ヨシ帯) の造成	5 ha
藻場 (ヨシ帯) の保全	256 ha
干潟等 (砂地) の造成	16 ha
干潟等 (砂地) の保全	1,019 ha

0 5 10 km

0 2 km